

再発そして転移は辛い言葉です。多くの方も、この不安を抱えていらっしゃると思います。

私は10年ほど前に、腎臓に4cmの腫瘍が見つかり摘出しました。病理検査の結果、珍しい肉腫とのことで、当時の通常の腎がんの治療とは少し違い、2ヶ月入院し抗がん剤治療をしました。

治療直後は再発、転移の不安より、無事治療が終わったという安堵感の方が大きく、身体の調子も落ち着いてきた3~4ヶ月後頃から、不安が大きくなってきました。

それから3年ほどは、少しでもどこかが痛いとし「もしかして」と考え始め、気になりだすと、その部分の痛みがどんどん増していき、結局受診し検査を受け、異状無しの結果を聞く。すると不思議なことにその後数日で痛みが無くなりました。そんなことを何回繰り返したでしょう。特に台所に立ち、家事をしている時に神経を尖らせ、身体の中の痛みを探してしまいます。

3年程するとさすがに”いろいろな痛み”を経験済みになり「ああこの痛みは大丈夫だ」と多少は判断できるようになりました。また緩和外来に定期的に通うようになり、先生に話を聞いていただき、アドバイスをもらうことで、気持ちの整理をつけることができ、とても助けられました。

「あーここがこんなので、ここも変で」と思いながら外来に行くのですが、いざ椅子に座り、先生に「どうですか？」と尋ねられると、何故か「そんな言う程のことでも無い、気にする程のことでもないな・・・」と思え、「変わりません」と答えることも多くなっていました。先生の貴重なお時間を取ってしまい、申し訳ないなと思いながら、気持ちのリセットできる時間だったので、長い間お世話になってしまいました。

5年で大丈夫という部位ではないのですが、5年を過ぎるころから再発のことを考えない日が少しずつ増えていき、先の予定を立てたり、話ができるようになってきました。未だに、「来年は・・・と話す時、元気でいられるかな」と思ったり、季節物の出し入れをする時にも出せるかな・・・とってしまいます。

もし治療に入ってもこの予定はこなせるかなと、かなり前向きに考えられるようになってきました。

早く治療を受ければ治る病気になって欲しいと心から願います。